

事前評価調書

I 事業概要						
事業名	道路事業					
地区名	一般国道247号（中央バイパス）					
事業箇所	蒲郡市水竹町～三谷町地内					
事業のあらまし	<p>一般国道247号は、名古屋市熱田区を起点とし、知多市や蒲郡市を経て、豊橋市に至る延長約180kmの幹線道路であり、蒲郡市内については、蒲郡を經由する国道23号のバイパス機能を有する道路である。また沿線には、西浦温泉や三谷温泉やラグーナ蒲郡が立地するなど、県内有数の観光地があり、観光地へのアクセス道路にもなっている。また、第一次緊急輸送用道路として指定され、防災上重要な路線でもある。</p> <p>当該事業区間は、2004年度に暫定2車線で供用が開始されているものの、2014年度に国道23号蒲郡バイパスが開通したことにより、交通量が増加し慢性的な渋滞が発生している。</p> <p>このため、主要渋滞箇所等の渋滞緩和及び緊急輸送道路ネットワークの強化を主な目的として、一般国道247号の4車線化を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 地域の活性化（地域の主要渋滞箇所等の渋滞緩和）</p> <p>(2) 地震・津波対策（緊急輸送道路ネットワークの強化）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	8.8億円		■工事費 8.7億円、■用補費 0.0億円、■その他 0.1億円			
事業期間	採択予定年度	2021年度	着工予定年度	2022年度	完成予定年度	2026年度
事業内容	4車線化（延長：2.9km、車線数：4車線、幅員：24.0m）					
II 評価						
①事業の必要性	1) 必要性	<p>(1) 地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道23号蒲郡バイパスの開通により交通量が増加しており、三谷町伊予戸交差点が主要渋滞箇所に指定されるなど、慢性的な渋滞が発生している。なお、2015年度道路交通センサスの当該事業区間の交通量は21,173台/日、混雑度は2.13である。 （15,124台/12h×昼夜率1.40＝21,173台/日） <p>(2) 地震・津波対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般国道247号は第一次緊急輸送道路として位置づけられており、災害時に安全・円滑に通行できる緊急輸送道路を確保する必要がある。 				
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要渋滞箇所等の渋滞緩和及び緊急輸送道路ネットワークの強化のため、事業実施の必要性が高い。 			

②事業の実効性	1) 事業計画	【事業計画】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td style="text-align: center;">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">なし</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td style="text-align: center;">←</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">→</td> </tr> <tr> <td>・土工</td> <td></td> <td style="text-align: center;">←</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">→</td> </tr> <tr> <td>・舗装工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">←→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">8.8</td> <td style="text-align: center;">8.8</td> </tr> </tbody> </table>								2022	2023	2024	2025	2026	合計	工種区分	調査・設計	←→					/	用地補償	なし					工事		←			→	・土工		←			→	・舗装工					←→	事業費（億円）		8.8					8.8
			2022	2023	2024	2025	2026	合計																																															
	工種区分	調査・設計	←→					/																																															
		用地補償	なし																																																				
工事			←			→																																																	
・土工			←			→																																																	
・舗装工						←→																																																	
事業費（億円）		8.8					8.8																																																
2) 地元の合意形成	・地元自治体より早期整備の要望を受けており、用地は取得済みである。																																																						
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。																																																					
	【理由】 ・円滑な事業環境が整っており、計画の実行性が確保されている。																																																						
III 対応方針（案）																																																							
事業実施が妥当である	事業実施が妥当である。：上記①～④の評価ですべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。																																																						
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																							
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 - 【主な評価内容】 交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度																																																							